

### 笑顔を増やせる 介護士目指そう

鹿沼市 加藤 実沙  
(高校3年 18歳)

◇私は夏休み中に、祖父が通っているデイサービスを3日間訪れた。1日目に仲良くなったお年寄りに、次の日忘

れられていた。

◇私の祖父は、最近肺炎を患った。無事退院できたが、少しだけ「認知症かな」と思わせる言動が増えた。祖父にもいつか忘れられてしまうのかと思ったり怖くなった。そんな祖父に対して「だから」と言い返すのではなく、「そ

うだね」と家族全員言葉を受

け入れながら会話をしている。そのようなことから、祖父の笑顔が増えた気がした。

◇私は将来、介護士になりたい。毎日会っている人に、忘れられてしまうことがあると思う。そんな時「もういいや」と諦めるのではなく、しっかりと受け入れれば祖父のように笑顔が増えていくのではないかと思った。

### もっと声出して 頼られる部長に

高根沢町 斉藤 愛華  
(中学2年 13歳)

◇私が今、頑張っていることは部活動のバスケットボールです。中学3年生が引退した後の新チームの部長になりましたが、まだやるべきことができてないと思います。◇それは9月下旬に行われた地区新人大会を通して思いました。試合中、チームが厳しい状況の時に、声を出してサポートすることができませんでした。それどころか、私はサポートされる側になってしまふ時もあったので、これからは、もっと声を出して頼られる部長になりたいです。◇私にはもう一つ課題があります。それは体力をつけることです。私は駅伝部に入っています。しかし、練習に慣れていきません。最後の最後であきらめてしまう弱さがあるので、どんなに苦しくても「負けないぞ」という気持ちを持って、これからの練習に励み、体力をつけたいと思います。

下野 1729.10.31(日)  
5画



鹿沼市 齋藤 由香